

2024.6.11

学術情報基盤オープンフォーラム

「どうする？研究データ管理」

研究データ管理の基礎知識： 背景、研究データポリシー

国立情報学研究所
オープンサイエンス基盤研究センター
江川和子

研究データ管理とは？

RDM: Research Data Management

ある研究プロジェクトにおいて使用された、または生成された情報を、どのように組織化・構造化・保管・管理していくのかを指す言葉



研究データの取り扱い
計画の策定

研究中の日々の情報の
取り扱い

研究後のデータの公開
や長期的な保管

オープンサイエンス時代の 研究データ基盤構築に向けた国内の政策的経緯

- 2015年3月：内閣府「国際的動向を踏まえたオープンサイエンスに関する検討会」報告書
- 2016年1月：政府「第5期科学技術基本計画」
- 2016年2月：文部科学省 科学技術・学術審議会 学術分科会 学術情報委員会
「学術情報のオープン化の推進について」
- 2016年5月：G7茨城・つくば科学技術大臣会合 つくばコミュニケ（共同声明）
- 2016年5月：政府「科学技術イノベーション総合戦略2016」
- 2016年7月：日本学術会議「オープンイノベーションに資するオープンサイエンスのあり方に関する提言」（提言）
- 2017年6月：政府「科学技術イノベーション総合戦略2017」
- 2018年6月：政府「統合イノベーション戦略」
- 2019年6月：政府「統合イノベーション戦略2019」
- 2020年6月：日本学術会議「オープンサイエンスの深化と推進に向けて」（提言）
- 2020年7月：政府「統合イノベーション戦略2020」
- 2021年3月：政府「第6期科学技術・イノベーション基本計画」
- 2021年6月：政府「統合イノベーション戦略2021」
- 2021年7月：政府「公的資金による研究データの管理・利活用に関する基本的な考え方」
- 2022年6月：政府「統合イノベーション戦略2022」
- 2022年12月：日本学術会議「回答・研究DXの推進 –特にオープンサイエンス、データ利活用推進の視点から–
に関する審議について」
- 2023年5月：G7仙台科学技術大臣会合 G7科学大臣コミュニケ（共同声明）
- 2023年6月：政府「統合イノベーション戦略2023」
- 2024年6月：政府「統合イノベーション戦略2024」

オープンサイエンスとは？

「オープンサイエンスとは、公的研究資金を用いた研究成果（論文、生産された研究データ等）について、科学界はもとより産業界及び社会一般から広く容易なアクセス・利用を可能にし、知の創出に新たな道を開くとともに、効果的に科学技術研究を推進することでイノベーションの創出につなげることを目指した新たなサイエンス」

内閣府『我が国におけるオープンサイエンス推進のあり方について～サイエンスの新たな飛躍の時代の幕開け～』（2015年3月30日）
<http://www8.cao.go.jp/cstp/sonota/openscience/>

オープンサイエンスの意義

1. 情報流通の活性化による学問の進展の飛躍的加速化

分野を越えた新たな知見の創出や効率的な研究の推進等に資するとともに、研究成果への理解促進や研究成果の更なる普及につながる

2. 研究の重複回避による研究開発投資の効率化

作業の重複を避け、コストの削減・研究の効率化を図る

3. 研究成果の再現性、透明性の確保

社会からの信頼を確保、研究不正を回避することで科学技術の進展と研究活動の透明性、公正性を確保する

4. 科学技術外交

科学技術先進国として地球規模研究への対応、国際的共同研究・研究交流を図り、国際的競争力を強化する

2021年3月26日

第6期科学技術・イノベーション基本計画

「新たな研究システムの構築（オープンサイエンスとデータ駆動型研究等の推進）」における目標

【目標】

- オープン・アンド・クローズ戦略に基づく研究データの管理・利活用、世界最高水準のネットワーク・計算資源の整備、設備・機器の共用・スマート化等により、研究者が必要な知識や研究資源に効果的にアクセスすることが可能となり、データ駆動型研究等の高付加価値な研究が加速されるとともに、市民等の多様な主体が参画した研究活動が行われる。

【科学技術・イノベーション政策において目指す主要な数値目標】（主要指標）

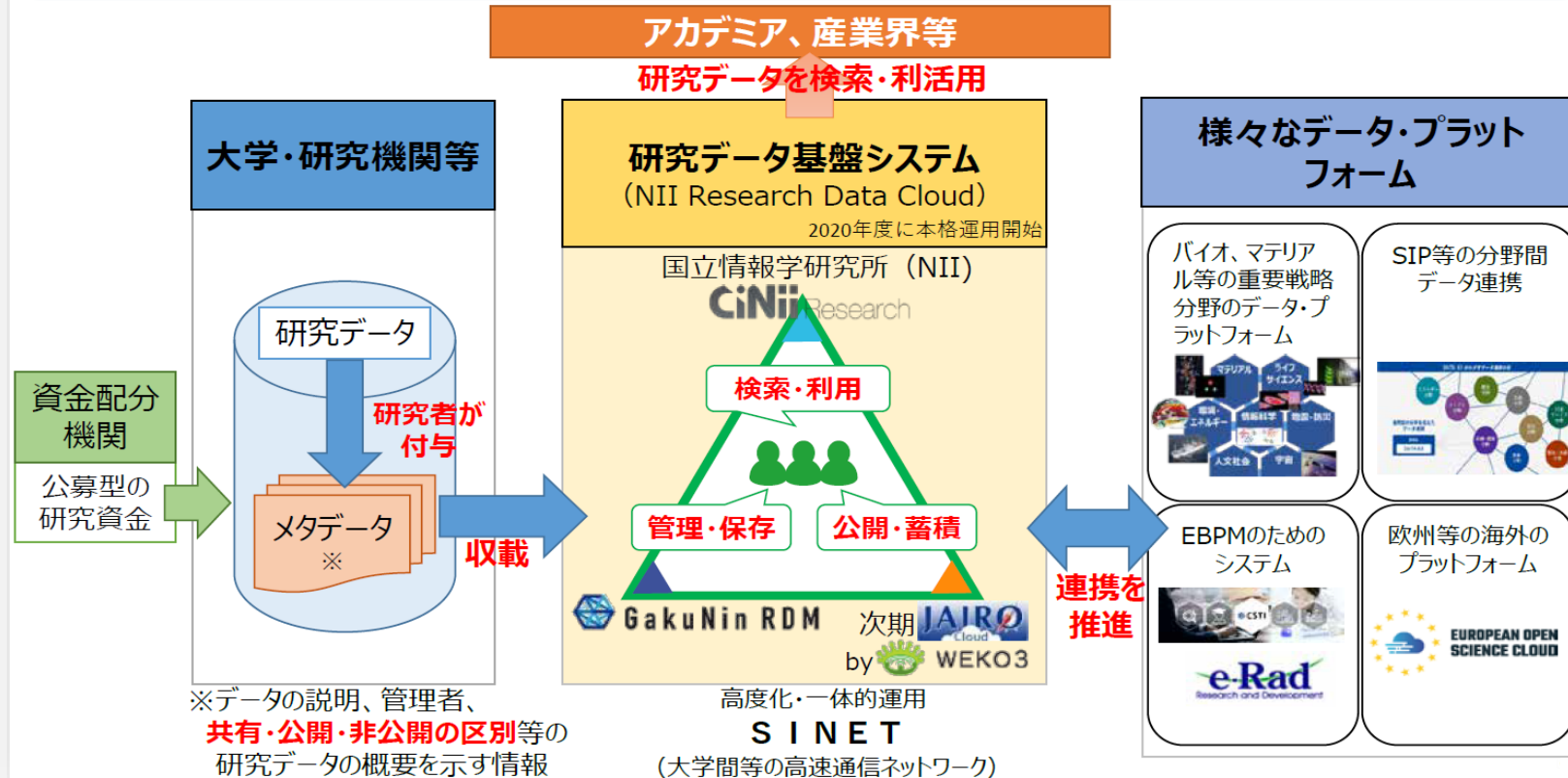
- 機関リポジトリを有する全ての大学・大学共同利用機関法人・国立研究開発法人において、2025年までに、**データポリシーの策定率が100%になる。**公募型の研究資金の新規公募分において、2023年度までに、**データマネジメントプラン（DMP）及びこれと連動したメタデータの付与**を行う仕組みの導入率が**100%になる。**

2021年4月27日 統合イノベーション戦略推進会議

公的資金による研究データの管理・利活用に関する基本的な考え方について

研究データ基盤システムを中核としたデータ・プラットフォームの構築

- 研究データの公開・共有を推進、産学官のユーザがデータを検索可能
 - ムーンショット型研究開発制度における試行(2020年度開始)、その後、次期SIPに導入
- 全ての公募型の研究資金の新規公募分に導入(2023年度まで)



大学・研究機関がやるべきことは？

1. 研究データポリシー策定

大学執行部

研究推進部



2. 研究データ管理システム導入

情報基盤センター



3. 研究データ管理の啓蒙

研究推進部

大学図書館

URA



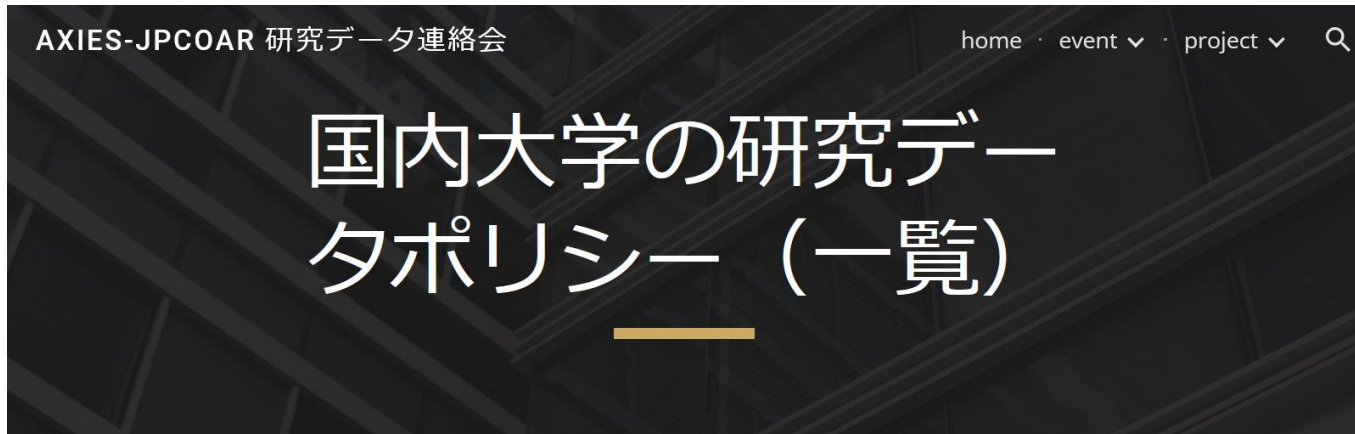
4. 研究データ管理の推進

研究者、研究室スタッフ

AXIES-JPCOAR研究データ連絡会

国内大学の研究データポリシー（一覧）

<https://sites.google.com/view/axies-jpcoar/project/国内大学の研究データポリシー一覧>



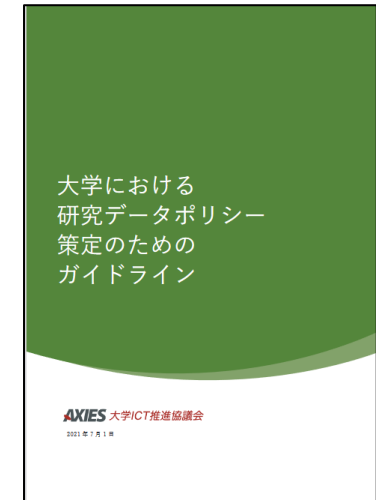
	計	国立	公立	私立
FY2019	1	1		
FY2020	1	1		
FY2021	4	3	1	
FY2022	16	14		2
FY2023	33	24	1	8
FY2024	7	4		3
計	62	47	2	13

（2024/6/6現在）

- 研究データの定義、研究者の範囲
- 研究データ管理
- 研究者の役割/責務＝研究データを適切に保存・管理し、利活用を促進する。
- 大学の役割/責務＝本学は、研究データの管理、公開及び利活用を支援する環境を整備する。
→研究データ管理基盤 GakuNin RDM の導入

AXIES（大学ICT推進協議会） 研究データマネジメント部会の活動

<https://rdm.axies.jp/>



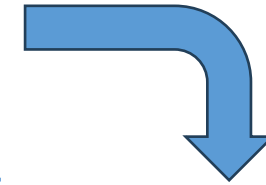
- 大学における研究データ管理に関するアンケート（雛形）（2020年4月）
- 学術機関における研究データ管理に関する提言（2020年6月）
- 大学における研究データポリシー策定のためのガイドライン（2021年7月）
- 2023年度年次大会企画セッション（2023年12月）「RDM推進のための学内体制を考える～ポリシー策定・DMP作成・研究データ公開・グリーンOA等に関わる学術支援～」発表資料公開

NII 研究データポリシー「ひな型」の提供

- ・ 機関の研究データガバナンスを規定するポリシー
- ・ 具体性のあるアクションナブルなポリシー

https://www.nii.ac.jp/openforum/2023/day2_rcos-dpdg.html

発表資料 2 : NII 研究データ管理・公開ポリシー（試行版）公開中



https://www.shiga-u.ac.jp/research_cooperation/research_activities/研究データ管理・公開/

「国立大学法人滋賀大学 データ管理・公開ポリシー ～責任ある研究データの管理・公開に向けて～」 （令和5（2023）年12月12日策定）

※NIIが提供する研究データポリシーひな型に基づく最初のポリシー

<https://rcos.nii.ac.jp/RDM20240220/>

第1回北陸地区 学術データ基盤セミナー（2023年2月20日）
笠原 禎也（金沢大学 学術メディア創成センター長 教授）

「金沢大学における研究データポリシー取り組み状況」

※資料、動画あり

NII 研究データポリシー「ひな型」の提供

- NIIオープンサイエンス基盤研究センター
<https://rcos.nii.ac.jp/>
- 研究データ管理・公開ポリシー
- <https://rcos.nii.ac.jp/service/datapolicy/>



国立情報学研究所
オープンサイエンス基盤研究センター
Research Center for Open Science and Data Platform

TOP > 研究開発 > 研究データ管理・公開ポリシー

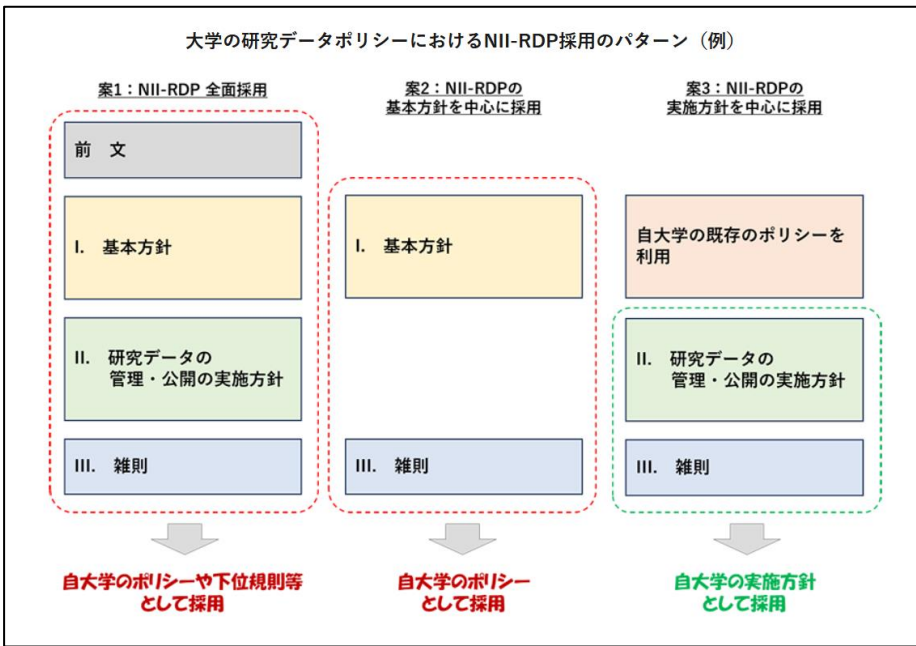
「国立情報学研究所研究データ管理・公開ポリシー（試行版）」の全国雛形としての公開

国立情報学研究所（NII）では、NIIで策定した研究データポリシー（NII-RDP）を全国の参考として、ここに公開しています。NII-RDPは、①機関の研究データガバナンスを規定すること、②アクションナブルであることを特徴として、策定されています。

ポリシーの基本方針部分のみ、あるいは、実施方針分のみを利用することも想定し、全文一体型のポリシーとともに、分離型のものも作成しました。大学の事情に応じて、適宜、ご参考下さい。

なお、NIIでは今後、NII-RDPの実施要領やガイドライン、関連の内規等を整備の予定です。

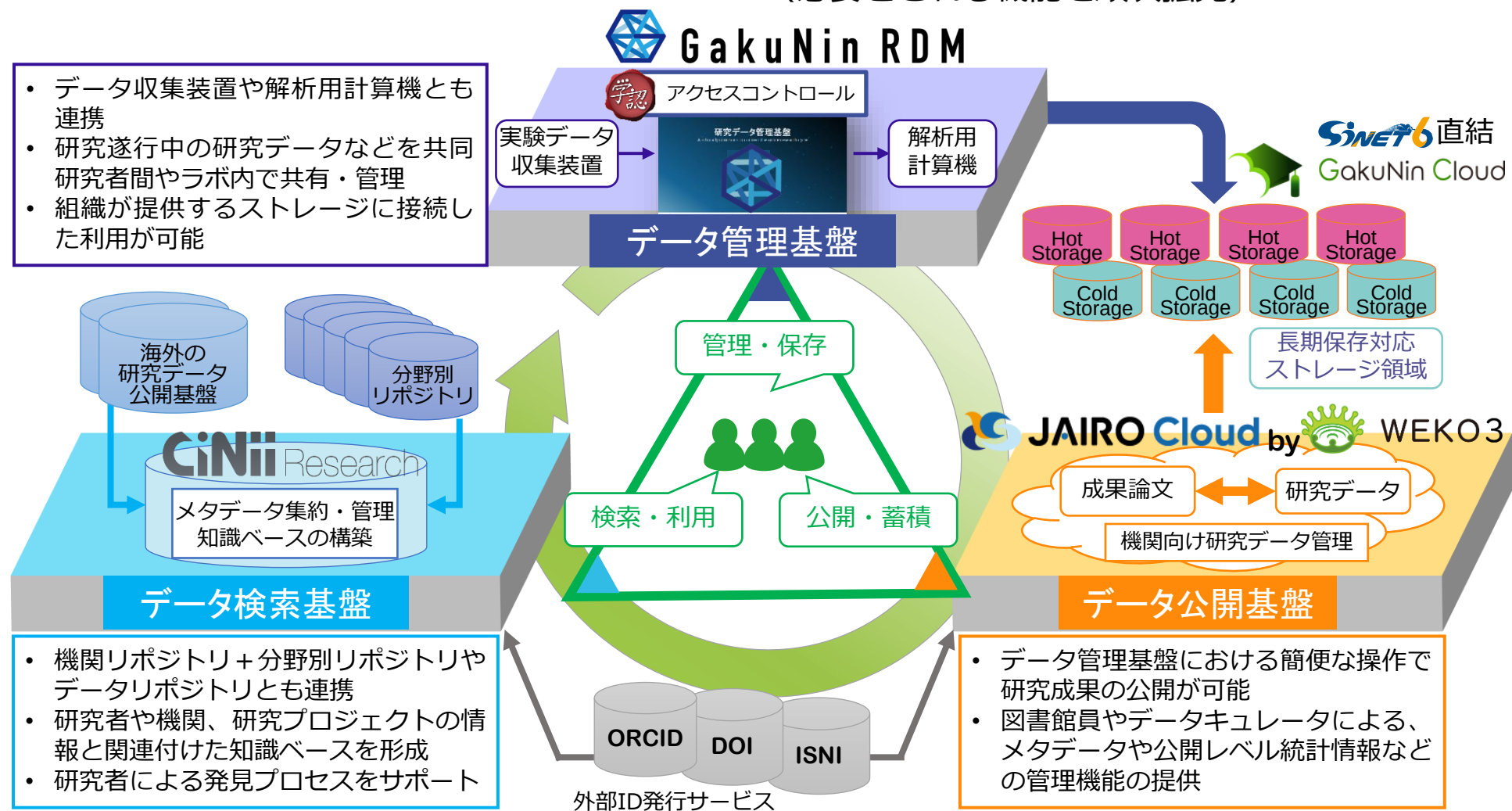
- NII-RDP（一体型） [Word形式](#) / [PDF形式](#)
- NII-RDP（分離型）
 - NII-RDP 本体 [Word形式](#) / [PDF形式](#)
 - NII-RDP 基本方針 [Word形式](#) / [PDF形式](#)
 - NII-RDP 実施方針 [Word形式](#) / [PDF形式](#)



研究データ基盤：NII Research Data Cloud

2017年から開発開始 ⇒ 2021年から運用開始

(必要とされる機能を順次拡充)



データポリシーについて、より深く知る



学術情報基盤 オープンフォーラム 2024

対話で進化する学術研究プラットフォーム

6.11火 12水 13木

[About](#) | [Time Table](#) | [Access](#) | [Contact](#)

Day2 | 6/12 (水)

機関の研究データガバナンスとポリシー

～AXIES-RDM部会合同企画～

大学において研究データポリシーの策定が進みつつあるが、研究者による研究データ管理が中心に据えられ、機関は環境整備に留めるものが多い。しかし、研究データ管理の恩恵（データの公開・利活用、研究公正）を得るには、機関による研究データ管理の視点が外せない。本セッションでは、実質的なポリシーについて議論する。

会場：2F中会議場B/オンライン

※当日まで参加申込可※

更新 [2024-05-22]